

田舎暮らしのみちしるべ

E-mail chiiki@city.iwakuni.lg.jp

第 12 回 IJU（移住）応援団交流会が玖珂で開催

第 12 回 IJU（移住）応援団交流会が初めて玖珂地区で開催されました。

平成 26 年 1 月 29 日（水）玖珂こどもの館で 10 時 30 分から 15 時 30 分、参加者 20 名で開催された。主催総合支所地域振興課西村課長の挨拶、参加者の自己紹介・近況活動報告、昼食を経て午後からは、山口県宅地建物取引業協会岩国支部森口敏充支部長を講師として、増える空き家の活用とその課題について講演をいただき、商売としての品質保証の厳しさなど、大いに、今後、IJU（移住）応援団の中山間地域への空き家活用による地域活性化の活動に参考になった。その後、事務局より活動状況の報告後、意見交換会に移った。各 IJU（移住）応援団よりこの半年の活動状況の報告と課題が披露された。

地域独自で情報発信を行える体制が出来つつある。また、耕作放棄地の再生に取り組んだ際の思わぬ障害など、新しい試みには従来の仕組みが効果的に働かないこと、若者の移住促進には、受け入れ地域の熱意と生活できる条件と地域の特徴を活かした商品開発に取り組むこと必要性が認識された。



講師 森口敏充支部長



昼食は好評だった国体弁当

岩国市は自然豊かで便利な田舎！！

宝島社の月間「田舎暮らしの本」2月号の特集。第2回日本「住みたい田舎」ベストランキングに全国1719自治体から田舎暮らし移住受け入れに積極的な137自治体のアンケート集計結果から、**岩国市は全国総合20位！部門別ランキング「自然豊かで便利な田舎」部門で3位！！**

岩国市の観光大使である漫画家の弘兼憲史さん「岩国市は酒とアユがうまい！」、岩国錦帯橋空港ができてアクセスしやすく、気候温暖で降雪が少ない。5つの酒蔵（瀬祭、五橋、金冠黒松、金雀、雁木）が揃い、錦川に育つアユがよいとのこと。さらに、レンコン、栗、わさび、こんにゃくなどがありますよ。



藤井右治氏（写真中央）から周東町「ひよじ夢プラン振興会」のIJU（移住）応援団のみなさん 平成25年12月14日（土）

【IJU（移住）応援団の状況です】

【周東町ひよじ地区】

平成25年10月に「ひよじ夢プラン振興会」が周東町ひよじ地区のIJU（移住）応援団として発足されました。当地区には、これまで、「里山ひよじ村」として藤井右治氏が平成21年6月より担当されてきましたが、このたび地区全体のIJU（移住）応援団活動は「ひよじ夢プラン振興会」に移譲し、氏は従来より関わっておられる有機農法を中心とした、田舎暮らし希望者への支援を行っていただくことになり、引継ぎが行われました。

【美和町長谷地区】

平成25年12月付けで、美和町長谷地区の「長谷地区ふるさとづくり推進協議会」にIJU（移住）応援団が1名増員され、合計3名体制で運営されていくことになりましたのでご紹介いたします。篠田三宜（しのだみつき）氏です。従来の上村博雅会長、篠原政久氏同様よろしくお願いいたします。下は篠田氏と木彫りの愛犬。



平成26年の春のスケジュール

- 2月 中旬 吉香公園 梅（冬桜も咲いています）
地域交流の里 竹林整備活動
- 3月 城下町ひな祭り 錦帯橋周辺の商店・民家で開催
和楽の里 ジャガイモ植え付け

その他各地域団体で開催される「おためし体験」については「田舎暮らしのみちしるべ」に掲載いたします。

ピックアップ（地域で活躍する人を紹介します）

【新規就農者の紹介】 由宇町 よねもと 米本尚史・あいこ 藍子夫妻です。

出身は兵庫県、平成22年4月に防府より転入。それまでは農業大学の学生でした。2年の課程を終えて、妻と一緒に由宇でトマト栽培農家として新規就農を開始しました。子供の頃から田舎で農業をすることに憧れていました。

この地に来て間もないのですが、幸い友人、知人もできました。農業のほうも設備が整ってきましたので、家族で力を合わせてがんばって行きたい。当初は住居が古い家で、冬には寒かったが、隙間を埋めるなど工夫して何とか乗り切った。地域の自治会にも属し、地区の行事にも参加している。はやく、トマト栽培農家として一人前になりたい。

都会に比べて四季の移ろいを肌で感じることができ、のびのびと毎日を過ごせています。生活するなかで人と人とのつながりもでき、今の暮らしに愛着が湧いてきています。



由宇のトマトハウスの前で

事務局からのお願い 地域へのUターン促進のため、地域のイベント情報を早めにお送りください。「田舎暮らしのみちしるべ」を気軽にご活用ください。少なくとも1ヶ月前には公開できるのがよいのではと思います。